

# ふれあい

2014

# 10

No.331

牛久愛和総合病院 広報誌



「まつりつくば」 撮影：医事企画部 吉川和美

## 「経食道心エコー検査」

内科医長 栗原 正人



十年一昔と言いますが医者に  
なり三昔となり、当院で働き始  
めてからは今年で十年目（一昔）  
となります。時間の経過するの  
が毎年早くなっているのは自分  
だけでしょうか？さて、今回の  
表題は余り聞き慣れない検査名  
と思いますが、主に循環器内科  
で行なわれる心臓の裏側（食道  
側）から心臓を観察する経食道  
心エコー検査（TEE）につい  
てお話しします。

循環器科諸検査の中で心臓超  
音波検査（心エコー）は、病棟  
のベッドサイドや救急外来など  
必要ならどこでも、昼夜に関係  
なくいつでも、体への侵襲もな  
く負担も少なく行うことが可能  
な検査です。但し、肥満の人・  
皮下脂肪が多い人や、喫煙者・  
高齢者等で肺気腫の方は観察が  
困難になることがあります。ま  
た、観察できる場合でも体表面  
から遠方の部位などの評価が困  
難となります。TEEは心臓の  
裏側（食道側）から心臓を観察  
するため、このような評価困難  
例に役に立つ検査なのです。

私が初めてTEEを行いました  
のは1996年6月6日で、  
当時はTEEに関するマニユア  
ル本を手元に置きながらの検査  
でした。胃カメラ同様に経食道  
用の1.5cm大の超音波内視鏡  
を食道に挿入し、胸壁側から反  
対側の、普段は観察が難しい部  
位がくつきりと、そして鮮明に  
観察でき、驚きのうちに無事に  
一例目を終了したことを今でも  
鮮明に覚えております。その後  
は週に2〜3例の頻度でTEE  
を行っておりましたが、TEE  
で観察した画像と体表面からの  
心エコー画像との比較でズレが  
あるため評価が理解し難い状況  
が続いておりました。  
1999年12月に奥志賀高原  
スキー場で心エコー図ウィンタ  
ーセミナーが開催されました。  
このセミナーは、講師陣も含め  
て出席者が40名程度で、講師と  
の距離も近く、勉強になったセ  
ミナーでした。このウィンター  
セミナーでのTEEに関する  
講義において、観察している画  
像の角度を補正することで体表  
面からの心エコー画像と対比  
し、評価・診断できる様になっ  
たことは、その後のTEEにお  
いて一大転機となったセミナー  
でありました。このようにセミ  
ナーや学会等に参加することに  
より、新たな知識や技術を習得  
でき、さらに日常診療にも役立  
っている実感しております。  
当院でのTEE件数は少ない  
のですが、必要時に適宜実施し  
ております。循環器科の診療に  
おいて、心エコーのみでは評価  
が困難な症例もあります。循環  
器疾患の診断・評価、脳梗塞脳  
塞栓症等の原因検索等のために  
必要であればTEEを行って参  
りますので、ご不明な点があり  
ましたら気軽にお問い合わせく  
ださい。

病院で働く人(職種紹介) 12

医療事務

医事企画部 次長 遠山 真治



医療事務のお仕事について寄稿を依頼され、昭和53年に初めて医療機関に勤めたころを思い出しながら原稿用紙にむかっています。

30年前、社会保険本人の自己負担は、月に800円でした。同じ月に何度医療機関を受診しても負担金徴収はなく、家族の方も一割負担でした。

しかし、CTスキャン等高額な医療機器の普及が進むと、国民医療費も膨れ上がり社会保険制度を維持するため、患者様の自己負担も3割へと増えています。

さて、30年前の医療事務の仕事は、受付業務、そろばんを使用した窓口会計、医療費の保険請求でした。保険請求の診療報酬明細請求書「レセプト」作成は手書きでした。

レセプトとは、医療機関で国の決めた公定価格に沿って医療費を計算し、患者様へ1割や3割を請求させていただき、患者様が加入されている保険者に残りを請求するための書類になります。

現在の病院は、IT化が進み、再診の場合は自動受付機があり、カルテも電子化、会計は自動精算機で支払うことができます。レセプト請求もオンライン化されています。30年間で、医療事務のお仕事も、IT化によって大変スピードアップされ、便利になったと感じています。

とはいえ、30年前から、保険医療機関および保険医療費担当規則の第2条に、病院・診療所は、「患者様に対して親切・丁寧な態度で医療サービスを行わなければならない」と記載されています。

これからも、IT化は進むでしょうが、患者様には、「やさしく、親切」に対応できるように事務部一同、努力してまいります。

朝夕は冷え込む時期になりました。体調管理にご注意ください。

DMカフェ



糖尿病専門医 河邊 聡子  
糖尿病看護認定看護師 栗山 千絵

ワンポイントアドバイス  
しっかり睡眠を確保しているはずなのに、次の日になかなか居眠りをしてしまう、なんてことはありませんか。次の日にだるさがある、日中いつも眠い、大きないびきをかく、夜中に何度も目が覚めるといった症状がある場合は、睡眠時無呼吸症候群の可能性がります。睡眠中に何回か呼吸が止まりぐっすり眠ることができない病気です。また、睡眠と糖尿病には深い関係があります。良い睡眠がとれないとホルモン分泌や自律神経機能異常が生じます。また、インスリン抵抗性(血糖値を下げるインスリンの働きが悪くなる)によりお越しくください。

11月12日 糖尿病の合併症  
11月19日 糖尿病について学ぶ  
11月26日 糖尿病の薬

〈糖尿病教室のご案内〉

第46回 生活習慣病教室  
「糖尿病について学ぶ」  
糖病教室ってなに?  
日時 11月19日(水)  
14時30分から約一時間  
講師 河邊 聡子医師  
栗山 千絵  
宜保 英彦医師  
糖尿病看護認定看護師  
栗山 千絵

栄養科 管理栄養士  
薬剤科 薬剤師  
※日本糖尿病療養指導士取得  
会場 牛久愛和総合病院  
B館2階 大ホール  
参加費 無料 事前予約不要  
お問い合わせ先  
牛久愛和総合病院 総務課  
電話 029-873-3111(代)

入職者

- ①担当 ②専門とその紹介 ③出身大学 ④趣味 ⑤生年月日 ⑥血液型 ⑦星座



9/1 付入職  
研修医 永田修

②9月より、お世話になることになりました永田です。魅力的な先生方が多数在籍されている為当院での研修を希望しました。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

③関西医科大学



9/8 付入職  
診療科 向井耕一

- ①総合診療科外来・月火土午前 内視鏡・木午前  
②ERや集中治療をやってきましたが最近では内科の研修が必要だと感じています。ご迷惑をお掛けすることも多いかと思いますが、ご指導お願い致します。  
③秋田大学、沖縄県で初期臨床研修後、横浜の救命センターで専門研修、沖縄のER勤務を経て現職 ④自転車 ⑤1983年2月7日 31才 ⑥B型 ⑦みずがめ座

# 春秋園だより

爽やかな秋風が吹く季節になりました。春秋園から見える栗も茶色く色づき秋を感じる季節になりました。

先日、春秋園では敬老会を開催致しました。今年は各フロアでのお祝いではなく、初めて2階から4階の入所者様合同で行いました。今年は上寿一名・百寿二名・白寿一名・卒寿三名・米寿四名・傘寿二名・古希二名の合計十五人のご長寿の方々にスタッフ手作りの色紙をプレゼントし、みなさん笑顔で受け取っていただきました。



余興といたしまして民謡ボランテアの方々の踊りを鑑賞しました。入所者様みなさん踊りに合わせて手を動かしたり、歌を歌われて笑顔が多く見られました。入所者様より「もう少し若かったら踊れるわよ」と元気なお言葉をいただきました。

最後にご長寿の方々に長寿の秘訣をお聞きしましたところ「みなさんによく見てもらっているからよ。」とお言葉をいただきました。その言葉にスタッフ一同、心が温まりました。これからもより良いケアが提供できるようにスタッフ一同努めたいと思います。

(入所職員一同)

## 長寿世界の国「日本」と地域包括ケアシステム

医事企画部 課長 松本 壮司

当院では、10月1日から地域包括ケア病棟(43床)をオープン致しました。

そこで、ちょっとだけ地域包括ケア病棟についてご紹介させていただきます。

現在、日本の65歳以上の人口は約3000万人を超え、国民の約4人に1人の割合です。

2025年には約800万人が75歳以上となり、国民の医療や介護の需要がさらに加速されていくことが予想されています。

その中で高齢者の尊厳の保持や自立生活の支援を地域一体となり、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるような社会の構築を「地域包括ケアシステム」と言います。

この地域包括ケアシステムには、5つの要素(住まい・医療・介護・予防・生活支援)が含まれており、当院の地域包括ケア病棟はこの5つの要素の中の医療・介護において重要な役割を担っていくと考えております。

当院では急性期の治療が終了

した患者さんを対象とし、在宅または、介護施設への復帰を目指している患者さんや、当院にてもう少し経過観察が必要な患者さんが対象と考えています。具体的には、①入院治療によって病態は改善したが、当院にてもう少し経過観察が必要な場合 ②入院治療によって病状が安定し、在宅復帰に向けてリハビリテーションが必要なお場合 ③在宅・介護施設での生活に向けて準備が必要な場合。

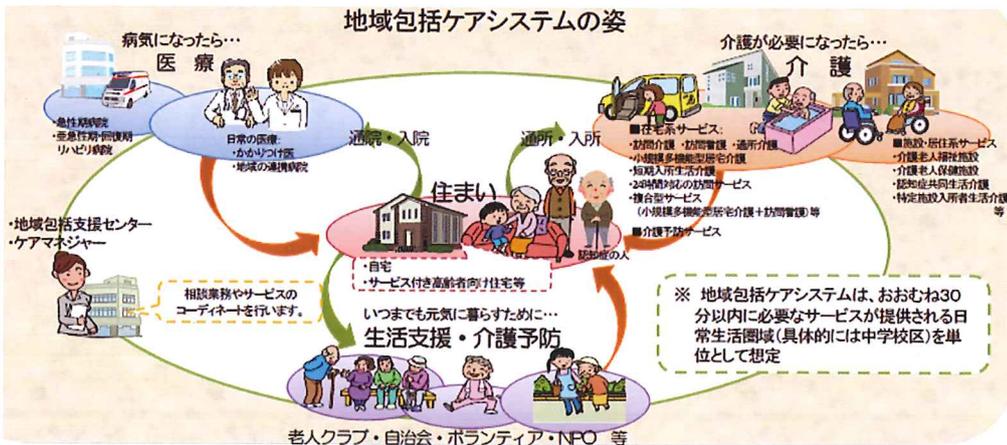
ただし、地域包括病棟へ入院した場合、入室後、最長60日以内での退院とさせていただきます。

このような患者さんのために、当院では主治医、看護師、リハビリスタッフ、医療福祉相談員、その他メディカルスタッフが

協力して患者さんの在宅復帰支援をさせていただきたく病棟を提供させていただきます。

※ 地域包括ケアシステムは、おおむね30分以内に必要なおサービスが提供される日常生活圏域(具体的には中学校区)を単位として想定

### 地域包括ケアシステムの姿



《出来事ピックアップ》

お月見集会

九月八日お

月見集会を行いました。年長さんが秋の作物を紹介し正面にお供えしました。そして、「こおろぎでんわ」の詩を朗唱しました。



9/8

部屋が暗くなり、影絵の舞台に光が当たると劇の始まりです。うさぎ、とんぼなど次々と動物や虫が写ると子どもたちは大喜びでした。月が出ると動物達とお月さまの歌を全員で歌いました。集会の後、みんなでお団子を作りました。小さいお団子、大きいお団子ができました。みたらし、きなこ、あんこで味付けし、おやつで美味しくいただきました。(澤田)

安全衛生講習会

9/17

近年、世界的に禁煙に対して注目が集まっています。それを踏まえ、当院職員対象に井上内科クリニックス院長 井上由加利先生を講師に招き、現在の喫煙対策と禁煙治療の実際につきままして講話をいただきました。喫煙はわが国のよ

うな先進国において、疾病の原因の中で防ぐ事が出来る単一で最大のものです。禁煙は今日最も確実にかつ短期間に大量の重篤な疾病を劇的に減らす方法。また、禁煙推進は喫煙者・非喫煙者の健康の維持と社会全体の健康増進に寄与する最大のものです。あるとうかがい、受講した職員との再認識に繋がりました。(安全衛生委員会 野中)



編集だより

今年の夏は例年より短く、がた目いおは期間が天候が崩れやすい。夏は暑く、お祭りやお祭りの季節は体調を崩しやすい。夏は暑く、お祭りやお祭りの季節は体調を崩しやすい。夏は暑く、お祭りやお祭りの季節は体調を崩しやすい。(K・A)

病院理念

我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床 (一般434床 医療療養型55床)

施設

敷地 59,449.60㎡ 駐車場 1151台



診療科目

【一般外来】

総合診療科 (内科)、消化器内科、糖尿病・代謝内科、循環器科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、神経内科、リウマチ科、心療内科、小児科、総合外科、救急科、甲状腺・内分泌外科、乳腺科、消化器外科、内視鏡科、形成外科、整形外科、ペインクリニック科、産婦人科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、歯科口腔外科、透析外来 (シャント外来)

【専門外来】

整形専門 (股関節、脊椎、スポーツ、肩関節、足の外科) 小児科 (小児循環器、小児心理) 循環器 (心臓血管外科) 皮膚科 (レーザー)

日本医療機能評価機構認定病院 医療法人社団 常仁会

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地 Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031 ホームページ http://www.jojinkai.com

《関連施設》

- 総合健診センター Tel 029-873-4334
健康増進施設 スポーツリラックス Tel 029-874-8791
介護老人保健施設 春秋園 Tel 029-870-3100

